

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和4年 6月 8日

静岡県知事

川勝 平太 殿

提出者

住 所 静岡県富士市天間264

氏 名 天間特殊製紙株式会社

代表取締役社長 金子武正

電話番号 0545-71-2620

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	天間特殊製紙株式会社
事業場の所在地	静岡県富士市天間264
計画期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日

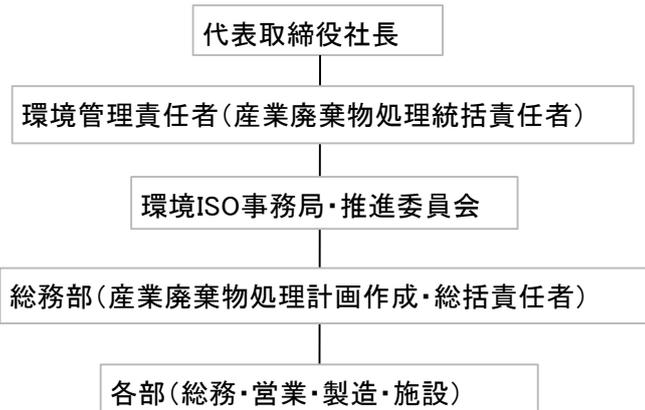
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	紙製造業
② 事業の規模	製造品出荷額 139億円
③ 従業員数	244人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

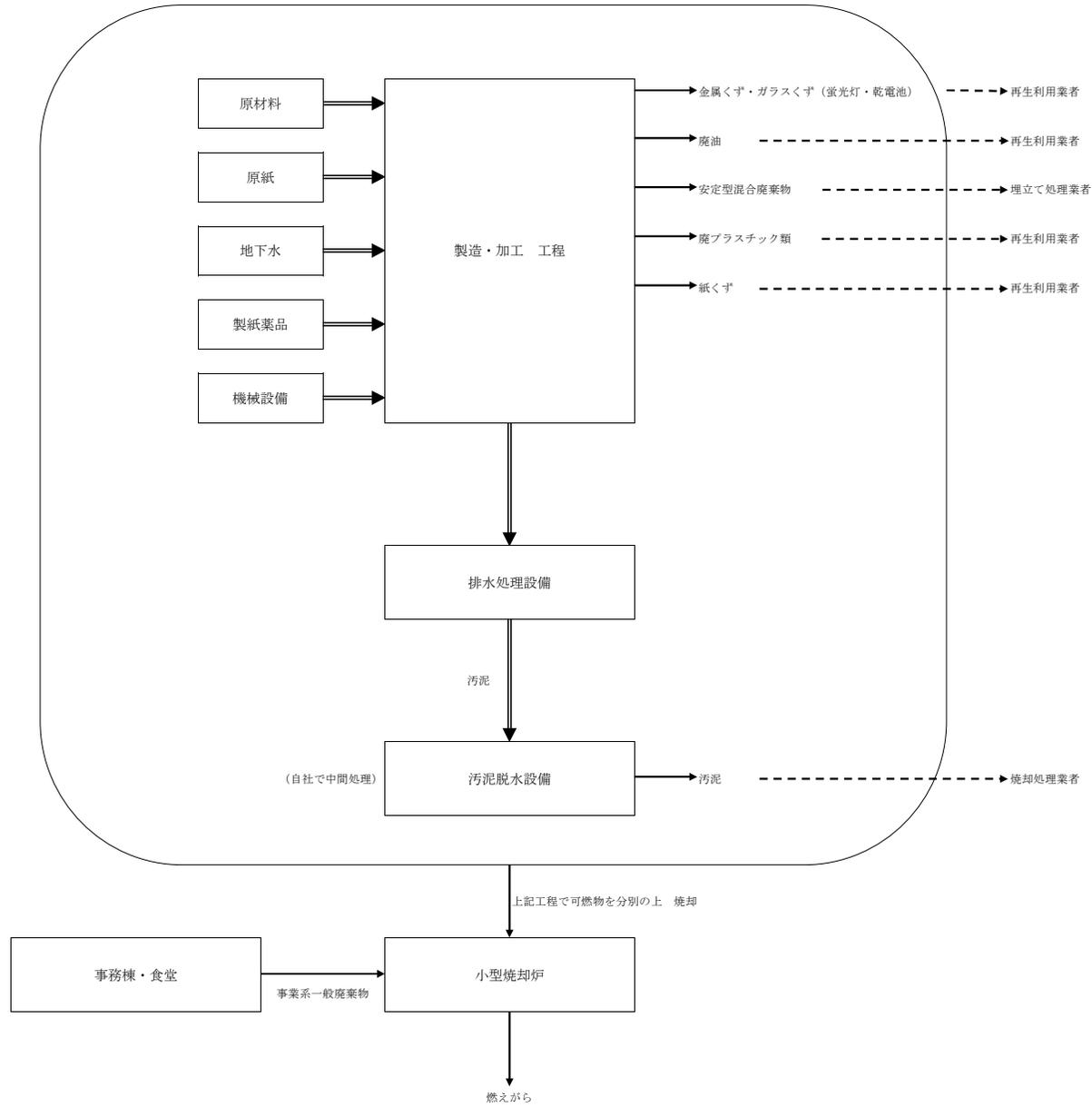
①現状	【前年度（ 令和3年度 ） 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・紙製造工程の原料回収率を上げ、汚泥（パルプスラッジ）を削減 ・廃包材と処分損紙より有価物を分別、紙くず処理量を減量 ・紙くずを分別し、よりリサイクル化し焼却処理減量 ・ガラスびんを分別、ドラム缶に保管しリサイクル化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現在の排出抑制方法の見直し及び推進		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・焼却ゴミより、紙類を分別し古紙リサイクル ・埋立ゴミより、乾電池・蛍光灯・びんを分別、リサイクル処理化 ・紙くず（廃包材と処分損紙）より、有価物を分別しリサイクル化
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現在の排出抑制方法の見直し及び推進

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(別紙1)



(別紙2)

		①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自ら直接処分又は海洋処分投入した量	④自ら中間処理した量	⑤自ら熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残存量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑨自ら中間処理した後自ら理立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑪優良認定処理業者への処理委託量	⑫再生利用業者への処理委託量	⑬熱回収認定業者への処理委託量	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
汚泥	現状	38,206t	0t	0t	38,206t	0t	3,274t	34,931t	0t	0t	3,274t	0t	0t	0t	0t
	計画	47,040t	0t	0t	47,040t	0t	4,032t	43,008t	0t	0t	4,032t	0t	0t	0t	0t
廃油	現状	1.08t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	1.08t	0t	1.08t	0t	0t
	計画	2t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	2t	0t	2t	0t	0t
金属くず ^a ・ガラス 陶磁器くず ^a	現状	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	計画	0.2t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0.2t	0t	0.2t	0t	0t
廃プラスチック類	現状	25.46t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	25.46t	0t	25.46t	0t	0t
	計画	25t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	25t	0t	25t	0t	0t
安定型混合廃棄物	現状	12.74t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	12.74t	0t	0t	0t	0t
	計画	15t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	15t	0t	0t	0t	0t
紙くず	現状	394.66t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	394.66t	394.66t	394.66t	0t	0t
	計画	400t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	400t	400t	400t	0t	0t